

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2022 年 12 月 30 日
事業所名 :	夢門塾ゆうゆう網干

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	7	0	0	利用者の学年が大きくなり、人数が多い日は狭く感じることもある。運動室は真ん中に大きな柱があるが、区切って鬼ごっこなど激しい運動の子とバランスボールなどの子と分けている。
	②	職員の配置は適切である	6	1	0	マンツーマン対応が必要な児童は担当を決めて見ている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	6	1	0	床のシミや机の落書きや汚れがあるが、日頃の清掃と一緒に除菌シートを使いながら消毒作業をしている。手洗い、うがいなどの声掛けもできている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	0	月に一回、職員会議で業務について話し合いの場がある。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	1	0	記入して頂いた評価表を確認し、振り返っている。保護者とのモニタリング等も行い、アンケートもしている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	5	1	1	自己評価の開示を行い、職員会議で話し合いを行っている。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7	0	0	月一回の職員会議や研修などに参加し、共通理解ができたり、学べている。発言、改善の場を設けていると思う。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	1	0	子どもや保護者の方の願いを計画に取り入れられるよう考えて話し合っている。会議の時に職員全員で共有し、発言できるようにしていると思う。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	2	0	職員会議等で話し合っ決めて決めている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	7	0	0	子どもたちの意見を取り入れて実施することができている。季節や行事等子どもたちの意見も尊重しつつ色々考えて楽しめるように考えていると思う。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	1	0	その日の状況を見て、考えて支援する時もある。職員会議を行い、行事を決めている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	1	0	マンツーマン対応の児童などもなるべくみんなで楽しめるように考えている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	その日の朝に打ち合わせをし、確認をしている。リーダー、マンツーマン対応、公文などの確認をしていると思う。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	毎日記録をし、振り返りながら改善案を出したりしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1	0	子どもたちの成長に応じて、日々改善し、支援を見直すようにしている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	6	1	0	自立支援や創作活動など、さまざまな観点からプログラムを組み、日々の支援を行っている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2	0	学校から直接予定表をもらえないので急に送迎表を変えないといけな い時があるが、連絡を取って共有している。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	3	0	学校の先生とは、送迎時や担当者会議などご利用者様の様子について 情報共有を行っている。また、相談支援事業所に対しては、月に一回 書面にてご利用者様の様子を伝え、変わったことがあった際などには、 できるだけ密に連絡を取るようになっている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	3	0	今後、卒業生が福祉サービス事業所等へ移行をする場合には、情報提供 を行っていく。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	0	保護者の方を介して話を聞くことがあった。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	1	0	保護者とのカンファレンスを行って、支援の方向性を決め職員で共有で きるようになっている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	6	1	0	契約時に、保護者様が納得いくよう丁寧に説明をするよう心掛けている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5	2	0	その都度対応している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	5	2	コロナ禍で開催が難しかった為、個別の対応の中で配慮している。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	すぐに謝罪をし、職員全員で理解し、改善案を出して対応している。保護 者への対応を行えるように職員会議やカンファで話し合いをする。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	1	0	夢通信や夢だより、ブログの更新が定期的であり、子どもの写真や様子 などがわかるようになっている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	7	0	0	写真の取り扱い等についても、表を作成し、緊張感をもって取り扱って いる。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	送迎時に話をしたり、コドモン、電話、メモを渡すなど伝わりやすいように 配慮している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	0	6	1	コロナ禍で地域の行事に参加できていないが、消防署などから来て頂き、 防災訓練等行ったり、地域の祭りを見ることはできた。なるべく参加 できるよう時間を作る。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	1	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	0	0	避難場所まで歩いて行き、全員で確認することができた。今後も避難訓練 を継続して実施したり、避難場所がわかるように時間を作って共有する。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	定期的に社内で虐待防止研修を実施しており、全職員が参加している。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2	0	現在身体拘束を行っているご利用者様はいないが、今後必要となった 場合には、保護者様に十分な説明を行い、同意書を頂いて対応をして いく。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	2	0	投与する機会がなかった。投与が必要な場合には、与薬表を基に、投 与する職員、確認をする職員と2名体制を取っている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7	0	0	発生した時は報告書を記入し、職員全員で確認している。今後も何かあ れば共有できるようにする。